

浦尾社長のコラム

「春」です。「春」が近づいて来ましたねえ。
季節もそうだけど、大成運輸にも、「春」が近付いて来ました。

数年間もの長い長い冬を、我慢して我慢して、
もしかしたらこのまま氷河期に入って、「春」は永遠に来ないんじゃない！？
って不安も頭をよぎりましたが。

空気や水のような、「有って当たり前」にしか見られなかった運送業界の存在が、
ようやく「無ければ死んでしまう」という認識に変わってくれています。

主な原因は、燃料費を筆頭とした経費の高騰にも関わらず、安い運賃が定着し、
私たちの、安全や生活が守れなくなり、ドライバーさんが不足している事です。

私たちが、安全と生活を守れる、適正な運賃への交渉が始められてきています。
当社でも、皆さんを守るために、しっかりと交渉していきます。

幸いにも、当社は皆さんがしっかりと根を張ってくれているので、安心です。
また、先日お知らせした、最大手のお客様からの移行についても、
他のお客様から、当社の「輸送品質」を高く評価して頂き、
引く手あまたの状態です。

で、皆さんにお願いなのですが、高い輸送品質をさらに広めて、
社会に貢献していくために、そして
ドライバーの地位を向上していくために、
「仲間」を増やしたいと思います。
「仲間」になれそうな人がいれば、声をかけてください。

今、浦尾の頭の中は、映画「トップガン」のテーマ曲がガンガンなって、
(若い人は知らないと思うので、一度ネットで見てみて)
「宇宙戦艦ヤマト」をイメージしていた「大成丸」を航空母艦に変身させ、
ジェット機が爆音を響かせ、次々と飛び立つ姿で一杯です。

コクピットから見えるパイロットの笑顔は、
トムクルーズから無理やり皆さんの顔にすり替えております。
超カッコイイ設定にしておりますので、皆さんの持てるテクニックを駆使して、

引き続き、お客様をしっかりとロックオンして下さいね。

カッコイイで、一言 …
運送会社で、かっこよくて、おしゃれなのは、
制服をビシッと着て、きれいに手入れした車両で、
安全運転をしている会社だと思います。
会社の業績も比例しているように見受けられます。

皆さん、何件かすぐに心当たりの会社の名前が出てくると思います。
ダサいって思うようなら、本質を見る目がないかも。
おしゃれな会社に見られるように、お願いしますぞ。



全営業所で グリーン経営認証を申請!

大成運輸株式会社 本社営業所

燃費目標 (年間平均)

(平成 25 年 11 月～平成 26 年 10 月)

前年度比 1 % 改善

目標燃費 (全車平均) 3.79km/ℓ

全車両平均燃費(前年) : 3.75 km/ℓ

目標達成のためにエコドライブの徹底に努めましょう!

大成運輸株式会社 福岡営業所

燃費目標 (年間平均)

(平成 25 年 11 月～平成 26 年 10 月)

前年度比 1 % 改善

目標燃費 (全車平均) 3.71km/ℓ

全車両平均燃費(前年) : 3.67 km/ℓ

特にアイドリングストップを徹底しましょう!

大成運輸株式会社 佐賀営業所

燃費目標 (年間平均)

(平成 25 年 11 月～平成 26 年 10 月)

前年度比 1 % 改善

目標燃費 (全車平均) 3.57km/ℓ

全車両平均燃費(前年) : 3.53 km/ℓ

アイドリングストップの徹底！！

地球温暖化、燃費改善、燃料代節約のために
アイドリングストップを徹底しよう。

- ① 積込、荷卸しの時
- ② 荷待ちの時
- ③ 食事や休憩の時
- ④ コンビニ利用の時
- ⑤ 荷主構内の入出門手続きの時
- ⑥ 出荷伝票手続きの時
- ⑦ 洗車の時
- ⑧ 給油の時
- ⑨ 点呼の時
- ⑩ 日常点検の時
- ⑪ 暖気運転は通常は3分以内、冬場は5分以内

大成運輸株式会社

エコドライブ項目	目的や効果
荷物の積み下ろしの際には、アイドリングストップを心がける。	アイドリング状態にある時の1時間当たりの燃料消費量はそのエンジン排気量の10%程度です。つまり、排気量の10ℓのエンジンならば、1時間のアイドリングで1ℓを消費することになります。
急発進、急加速、急ブレーキを控える。	急発進・急加速をすると、必要以上にエンジンの高回転域を使うことになり、通常の加速と比べて著しく燃費が悪化します。 ディーゼル車は、走行中にアクセルペダルの踏み込みをやめてエンジンブレーキの状態にすると、エンジンの燃料供給がカットされ無噴霧状態となるので、この状態を多用すると燃費向上につながります。 フットブレーキのみの使用に比べて、エンジンブレーキを使用して停止した場合、一般的に大型車で1回当たり20～25ccの燃料を節減できます。1日のブレーキ回数を600回として、さらに、年間に換算すると延べ18万回となり、燃料消費量としては3,600～4,500ℓ、金額として¥396,000～¥495,000（110円/ℓ）の節約となります。
不要なものは積まない。	車の燃費は荷物の重さに敏感です。運ぶ必要の無い荷物は降ろしましょう。
シフトアップを早めに行う。	大型車が5速ではなく4速、中・小型車が4速でなく3速というように、一段下のギアで走行したとすると、燃費はそれぞれ20～40%も悪くなります。
経済速度で走る。	経済速度とは、1km当りの燃料消費量が最も少ないエンジン回転数で走る速度です。例えば、交通の状況から経済速度が50km/hの時、60km/hに速度を上げた場合、燃料消費量は10%多くなります。
タイヤの空気圧を適正にする。	10トン車の空気圧が100kPa（＝1.0kgf/cm ² ）低いと燃費は約1.5%悪化するとされています。
空ぶかしをしない。	空ぶかし1回当たりの燃料消費量は、大型車10～12cc、中型車5～7cc、小型車3～5cc。 例えば、燃料1ℓで大型車が約3km走行（1ccで3m走行）できると仮定すれば、大型車が1回空ぶかしすると、30～36m走行分の燃料を無駄にしていることとなります。
エアコンの設定温度（使用）を控えめにする。	エアコンの使用によりエンジンの回転数が高くなるため、結果として燃料の使用量が増加します。エアコンの使用は最小限に心がけ、こまめに適正な温度に調整することが重要です。